

ティー

ネット

T・NET通信

2001 WINTER

No. 17

発行

財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部
〒163-8688 東京都新宿区大京町31-10 ユニセフハウス TEL:03-3355-3224 FAX:03-3355-3472
ホームページ <http://www.unicef.or.jp> 募金口座 郵便振替・00190-5-31000・日本ユニセフ協会



©UNICEF/UNRRA-1522



©UNICEF/ICEF-1887

ユニセフ誕生物語

新しい世紀を迎え、人類は新たな時の流れの中に一步を踏み出しました。

ユニセフ（国際連合児童基金）はこの新しい時代にどのような活動をしていかなければならないのでしょうか。そのヒントはユニセフの原点を探ることにあるのかもしれませんが。どのような組織や団体もそれをつくるための理由や背景があり、つくる人の熱意があってはじめてたちあがります。ユニセフはどのような人びとが、どのようにしてつくったのでしょうか。そして、その思いはわたしたちにどのようなメッセージをおくっているのでしょうか。

今回はユニセフ誕生の物語へ、どうぞ。

★ アンラ ユニセフ ★ UNRRAからUNICEFへ

まだ第2次世界大戦終結の見込みがまったくついていなかった1941年～42年、イギリス首相のウィンストン・チャーチルとアメリカ大統領のフランクリン・ルーズベルトが中心となって、“国際連合”という言葉がうまれました。しかしこの時、この呼び名はまだ、米国とソ連邦とイギリスの連合を示すだけの言葉でした。戦争が長期化し被害が拡大する中、“国際連合”は、大戦のために飢餓や病気で苦しんでいるヨーロッパの子どもたちを救済するために

UNRRA (the United Nations Relief and Rehabilitation Administration - 国際連合救済復興機関) の設立を計画し、1943年11月9日、当時連合国側にいた44カ国が加盟して立ちあげられました。しかし、当初UNRRAはどのような活動内容を含むものであるかは明確にされず、当事者のチャーチルでさえ定かではなかった、といわれるほどです。

にも関わらず、設立後のUNRRAは多くの活動の場を得ます。当時子どもたちは、戦争の最大の被害者となり、傷つき、飢えに苦しみ、親を失い、体力低下のためにあらゆる病気にかかっていた。終戦後の1945年～46年にかけてUNRRAはその活動の最盛期を迎えます。1万5千人の国際スタッフと3万5千人の国内スタッフを動員し、40億ドルの救援資金をつぎ込んで、農業復興、医療支援、教育支援、難民保護、子どもの支援といった援助活動を、特に東ヨーロッパを中心に、中国、フィリピン、エチオピアなど25カ国において実施したのでした。

UNRRAはその活動資金のほとんどを米国内に依拠する機関でしたが、戦争の勝利者が戦争の犠牲者を“チャリティ”の観点から



1946年 チェコスロバキア
UNRRAの救援物資の到着
米国イリノイ州から運ばれた孵化用の卵6万個
©UNICEF/UNRRA-3932

ら支援するものではなく、純粋に国際的協力機関としてつくられたものでした。このため、支援を受ける国もできる範囲で余剰食糧や物資の供出をするという原則がありました。こうした資金などの拠出の仕組みは、国際的人道支援というこれまでになかったシステムを提示するものだったのでした。

ところが1946年になると米ソの対立と東西冷戦のはじまりが各国の間に溝を生じさせ、UNRRAの前途に暗雲が立ち込めてきました。米国議会はUNRRAのスタッフの管理ミスや援助を受ける側の政府の役人の姿勢について批判を繰り返してしまし



1942年 ワシントン 国連発足の調印
当時はまだ“連合国”の集まりにすぎませんでした。
©UNICEF



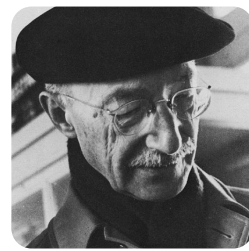
1946年1月 ロンドンで開かれた国際連合の
会合。この前年10月、国連は世界の国々に
対象とした機関として正式に発足しました。
©UNICEF

た。その背景には、援助をするのは米国
や西ヨーロッパの諸国で、援助を受けて
いた国の多くが東ヨーロッパを中心とし
た東側の諸国であるという事情がありま
した。米国はUNRRAの支援は東側を利
するもの、と考えたのです。東西冷戦の
影響下で、米国という最大の拠出国の反
発にあり、UNRRAの活動は1946年末を
もって幕をおろす結果となってしまいま
した。

そうした事態の中で、せめて子どもた
ちだけでも救援を続けられないかと考
えたのがハーバート・フーバー前米国大
統領でした。トルーマン大統領の指示を
受けて、1946年ヨーロッパの惨状を視察
したフーバーは、2000万人の子どもた
ちが栄養不良に陥っている上に、結核、く
る病、貧血などに苦しんでいる状況に大
きな衝撃を受けました。フーバーは、ヨ
ーロッパを救い、そのたて直しを行うの
だとすれば、まず子どもたちに援助の手
を差し伸べねばならない、と世界に訴え
ました。

もうひとり、同じように考えた人がい
ました。当時ポーランドのUNRRA代表
を務めていたルドウィク・ラフマンです。
世界でもトップクラスの公衆衛生専門家
だったラフマンは、UNRRAの解体が決

まり、最後の
会議が開かれ
たとき、子ど
もたちに対す
る食糧・医療
援助は国連で
継続しなければ
ならない、
と訴え、活動
を継続するた
めの新しい国連機関をつくることを提案
しました。この提案はユニセフの原形とな
り、この功績からラフマンはユニセフの
創設者とみなされています。



ユニセフ創設の功労者
ルドウィク・ラフマン
©UN

誰がこの新しい機関の代表になるべき
か、ラフマンはある考えを持っていまし
た。東西冷戦の政治状況の中でどのよう
な国際機関もその影響を受けざるを得な
い、そのことはUNRRAの例を見ても一
目瞭然でした。だから、代表には米国お
よび西ヨーロッパから反対を受けない人
を選ぶ、特に米国人から選ぶ、というこ
とが最良の方法のように思われたので
す。特に国連に対して批判的であった米
国共和党の支持を得られる人材が適任と
の判断から、フーバーの下でヨーロッパ



©UNICEF/UNRRA-5910

での援助活動で手腕を振ったモーリ
ス・ペイトを推薦し、合意を取りつけま
した。

こうした地道な政治的駆け引きの努力
が実り、1946年12月11日、国連総会
の第1回会合において、UNRRAの残余資
金とスタッフを引き継ぐかたちでユニセフ
(the United Nations International
Children's Emergency Fund - 国際連合
国際児童緊急基金)の設立が満場一致で
採択されました。事務局長に就任したペ
イトは、救援物資をどこに送るかはユニ
セフが独自の判断で決定することを条件
としました。つまり、どの国の干渉も受
けずにもっとも支援を必要としている子
どもに支援を届けることを約束したの
です。また、設立に際して"Emergency -
緊急"の名前が大きなポイントとなりま
した。当初、ユニセフは、緊急的な活動
を一定期間(3年間)実施する目的で設
立された一時的な機関だったのです。

「ヨーロッパと中国の子どもたちは、こ
数年間の悲惨な年月の中で、食料を奪われ
ただけではない。かれらは常に恐怖の中
で暮らし、一般市民の虐殺を目撃し、科
学戦争におびえ、社会的品行がますます悪
化する状況にさらされてきた。国連が直面
している緊急の問題はこれらの子どもたち
の生存をどう確保するかということであ
る。世界の希望は次の世代に託されている
のだから、子どもたちのケアの問題は国際
的な視点から取り組まなければならない。
そしてその解決策も国際的な基盤に基
づいたものでなければならない。」

国際連合国際児童緊急基金の設立
国際連合総会第3委員会報告
1946年12月9日

この演説はアジア・中南米・中東の代
表等からの大きな賛同を呼び、米国もそ
の意志を翻しました。国連総会は1950年
12月、ユニセフの任務を3年間延長する
こと、活動を開発途上国の支援に拡大す
ること、およびユニセフを恒久的な機関
にすることを検討すること、を全会一致
で決議しました。



©UNICEF/ICEF-0355

その3年後、再度ユニセフの存続が問
われたとき、その存続の重要性を訴えた
のはほかならぬエレノア・ルーズベルト

「今日、世界には15歳未満の子もたちが約9億人いる。
そのうち半数以上の5億人が貧困の中に生き、死んでいる。
彼らは飢えと寒さ、病氣と隣りあわせである。彼らのニ
ーズに応えようとしている唯一の機関、それがユニセフであ
る。しかしユニセフの支出は、たった空母1隻の価格の半
分にも満たない。私の希望(そしてそれがこれら5億人の
子どもたちのための唯一の実際の解決策である)は
UNICEFが恒久的機関となることである。」

エレノア・ルーズベルト
米国情報代表
1953年10月



でした。今やユニセフの支援者となった
彼女の演説は大きな説得力がありまし
た。(囲み演説参照)

1953年10月6日、国連総会は満
場一致でユニセフを恒久機関と
することを決定しました。そして
名称をUnited Nations Children's
Fund - 国際連合児童基金と改
め、世界の子どもを支援する機
関として緊急救援だけでなく、
子どもの生存と健全な発達を支

1949年 世界人権宣言のポスターを掲
げるエレノア・ルーズベルト。
その後ユニセフの存続に大きな役割を
果たした彼女は世界人権宣言の立ちあ
げにも関わった造詣の深い人物でした。



©UNICEF

★21世紀のユニセフ

現在ユニセフは161の国と地域で活動
し、子どもたちのための機関として大き
な信頼を受けています。1989年に採択さ
れた「子どもの権利条約(児童の権利に
関する条約)」は、現在、ユニセフの活
動の指針となっています。この指針を基
に、ユニセフは子どもたちの健全な発
達のために、さらなる前進をするには、
特に次の3つを考えて行動することが必
要であると考えています。

- 1 子どもが誕生後の数年間に可能な
限り最善のスタートを切れるよう
にすること
- 2 すべての子どもが質の高い基礎教
育を受けられること
- 3 若者たちが十分な支援と機会を得
てそれぞれの能力を伸ばせるよう
にすること

子どもたちが最大限にその可能性を発
揮できるようにするには、何をすればよ
いのか...私たちはそのこたえをすでに知
っています。とすれば、すべての子ども
たちにそれを実現するために求められて
いるのは、政府、市民社会、民間企業の
指導者、地域社会グループ、家族、そし



©UNICEF/Fran Antmann

て子どもたちとの連携、パートナーシ
ップです。50年以上前、多くの人びとの子
どもへの思いがユニセフをつくったとき
と同じように、今、すべての人が“子

ども最優先”という共通の思いを持つ
ことが求められているのです。

参考文献: Maggie Black, "The Children and the
Nations" 1986

歴代ユニセフ事務局長

初代 **モーリス・ペイト**
(Maurice Pate)
任期 1947年-1965年



第1次世界大戦後、アメリカ
救済委員会のために、百万人
の子どもたちへの食糧援助に
尽力。第二次世界大戦中、ポ
ーランド救済委員会の委員長
に指名され、のちにヨーロッパとアジアの捕虜
に救援物資を届ける責任者としてアメリカ赤十
字に参加。1946年、ハーバート・フーバーが
率いた世界の食糧不足を査定するための視察団
のメンバーとなり、子どものニーズを分析。

2代 **ヘンリー・ラブリス**
(Henry Labouisse)
任期 1965年-1979年



第2次世界大戦後のヨーロッパ
でアメリカのマーシャル・ブ
ランのために働き、1954年、
中東で国連難民救済事業機関
(UNRWA)の代表。1960年
代、米国国際協力機関の代表を務めた後、アメ
リカ政府のギリシャ大使。

3代 **ジェームス・グラント**
(James Grant)
任期 1980年-1995年



第2次世界大戦後の中国で国
連救済復興機関(UNRRA)に
勤務した後、アメリカ国際協
力機関で1958年に副代表と
なった。1960年代には米国
国際開発庁に勤務し、1969年ワシントン市の
民間団体 海外開発審議会の初代議長を務める。

4代 **キャロル・ベラミー**
(Carol Bellamy)
任期 1995年-



1963年から1965年までグア
テマラのアメリカ平和部隊の
ボランティア。法学部卒業
後、ニューヨーク市で弁護士
となる。1973年から1978年
までニューヨーク州議会議員を務め、1978年
から1985年までニューヨーク市議会初の女性
議長を務める。1993年にクリントン大統領か
らアメリカ平和部隊の長官に指名される。

★現在のユニセフへ

予定された活動期間の終わりが近づい
た1950年、あたかもUNRRAの終えんと
同じような状況があらわれました。1950
年10月6日、国連の会議で米国の国連代
表であったエレノア・ルーズベルト元大
統領夫人は「ユニセフはすでに任務を終
えた」として、資金の拠出を停止したい
との考えを表明したのです。

これに対し、パキスタンの国連大使
で、会議の副議長をしていたアハメド・
シャー・ボカリは高揚したようすです反論
の弁を展開しました。

「パキスタンもアジアの他の国々もユニセフ
が配ったパンフレットの中で、戦争の犠牲
者となったヨーロッパの子どもたちのやせ
衰えた姿の写真を見てショックを受けま
した。しかしながら、もっとショックだっ
たことは、ヨーロッパのこれらの子どもた
ちよりも、開発途上国の“普通”の生活をして
いる何百万人もの子どもたちの方が、も
っと悪い状況に置かれているということが
わかったことです。戦後ヨーロッパの援助
を必要としている子どもたちを支援する意
志はあっても、開発途上国の同じように援
助を必要としている子どもたちには援助の
手を差し伸べてくださらないのですか。」

『2001年世界子供白書』が発行されました

1979年国際児童年の翌年から毎年発行されている『世界子供白書』。今年の
白書は、乳幼児期のケアを特集しています。子どもの脳は3歳までに飛躍的
に発達します。この間に十分な栄養や、知的、感覚的刺激を得られなけれ
ば、その後の発達にも大きな影響を及ぼします。その場限りの活動ではな
く、子どもの発達を総合的にとらえた活動の重要性が訴えられています。

1冊までは送料を含め無料でお送りいたします。
お申込は日本ユニセフ協会 学校事業部 (☎ 03-3355-3224) まで。

